



小山台

学校だより

11月号

令和5年10月31日

横浜市立 小山台小学校

「なりたい自分」に向かって

校長 堀江 公子



秋の深まりが駆け足でやって来るとともに、日ごとに夕暮れが早まってきました。

先日10月21日(土)、本校の運動会が行われました。当日は、お天気にも恵まれ、絶好の運動会日和となりました。今年度の運動会は、4年ぶりに入場制限がなく、多くの皆様に児童の頑張りや日頃の取組みの成果をご覧いただくことができました。子どもたちへの温かい拍手とご声援の数々、感謝申し上げます。

保護者の皆様には、運動会当日を迎えるまで、お子様に対する励ましや体調管理にご協力をいただき、誠にありがとうございました。

当日の演技、1・2年生「こや小サンバ」では、手に持っていたキラキラの手具に負けなくらいの輝いた笑顔が印象的でした。3・4年生「風になびかせ、フラッグフェスティバル」では、きれのよい動きで、旗の音が秋の空に響き渡るさわやかな演技でした。5・6年生「限界をこえろ!熱きソーラン」では、一人ひとりが仲間の動きを感じながら、息の合ったかけ声と力強い演技を披露しました。小山台小学校の高学年としての誇りが伝わりました。

また、リレーや応援合戦では、日頃の成果を発揮し、みんなの気持ちが一つになって運動会を盛り上げていました。さらに係の仕事では、自分の役割に責任をもってやり遂げました。緑の芝生の上で、学校教育目標「笑顔いっぱい ともに輝く小山台」の子どもたちの姿を見ることができました。

子どもたちの運動会振り返りには、「中休みに、声を掛け合い練習をした。」「仲間の頑張りが伝わり、自分も頑張ろうと思った。」「大きな声で、勝っても負けても全力で応援した。」「みんなの気持ちが一つになった感じがして、踊るのが楽しかった。」など、素敵な言葉がたくさん書かれていました。

子どもたちは運動会という大きな行事を通して、互いを認め仲間と協力しやり遂げることの大切さやめあてに向かって頑張る粘り強さ、責任感など、様々なことを学んだと思います。また、異学年との関わりのなかで、上級生は自己有用感が高まったり下級生は上級生への憧れを抱いたりします。仲間とともに感動した本物の体験は、子どもたちの心に残り、学校生活をさらに豊かにすることでしょう。これからも、子どもたち一人ひとりが自分の成長を感じながら、めあてに向かって「なりたい自分」に近づいていけるよう、日々の教育活動に取り組んでいきたいと思います。

今後とも、本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



※本校ホームページにて、運動会の様子や子どもたちの振り返りがご覧いただけます。

